

うか。
[答] 国が進める「福祉から雇用へ」推進5か年計画を参考に検討します。

西部地域雇用支援センターの廃止撤回

[問] 足立 一般会社へ就職を希望する障がい者に対する市の支援は「相談」のみ。市の障害者計画では、職業訓練も行なう事業は平成二十三年に実施。体制が整うまで、市が補助金を出している西部地域障害者雇用支援センターの来年三月末廃止の撤回を県に求めるべき。
[答] 廃止は残念に思います。が、ふじみ野市のみで存続の要望は難しく、市の計画を進めていきます。

行政、民間等で情報共有のネットワークを

[問] 小川 ふじみ野市障害者就労支援センターは、一般就労も実現し、仕事の範囲も増えている。隣に設置されている障害者生活相談と窓口一本化を実現できないか。行政や民間、養護学校の枠を越えて、情報共有するネットワーク

クをつくれぬか。
[答] 大きなネットワークの形成はすぐには難しいのではないかと思います。委託運営の生活相談との一本化は検討したいと思えます。

自殺を未然に防ぐ方策

[問] 高橋 我が国の自殺者は、十年連続で三万人を超えている。主な原因は、うつ病や家庭不和、生活苦等。自殺の低年齢化と子どもが遺族にならないためにも、自殺を未然に防ぐ方策は。
[答] 社会の努力で避けられる死であることが、世界共通の認識になりつつあります。多方面の取り組みにより未然に防げると確信し、今後、地域関係機関、民間団体との緊密な連携のもと、対策を講じるための基盤整備に努めます。

子宮頸がんの検診方法の見直しと啓発

[問] 伊藤 子宮頸がんは、年間約八〇〇〇人が発症し、二五〇〇人が亡くなっている。特に二十〜三十代の女性に増えている。子宮頸がんは予防できるがんであり、現在

の細胞診とHPV検査を併用することで、前がん病変で発見でき、子宮の温存も可能となる。検診方法の見直しと啓発をしていただきたい。
[答] 検診については、さらに小学校・保育所の保護者まで通知し、HPV検査については、東人間医師会で協議検討します。

市民生活

赤ちゃんの駅設置

[問] 岸川 赤ちゃんを連れて安心して外出できるように、おむつ替えや授乳等ができる「赤ちゃんの駅」等を設置できないか。
[答] 現在公共施設の三カ所です。さらに優先順位をつけて設置していきたい。

すべての職員にAED等の講習受講の普及

[問] 山口 心肺停止の緊急時に、いち早く応急手当を講じることで救命率が高くなる。全公共施設へAEDの設置と、普通救命講習の普及を推進すべき。
[答] 臨時的任用職員も含み、全職員対象に普通救命講習を受け、現在は二六七名が終わっています。今後も推進していきたい。また、AEDの設置は、全公共施設を対象に設置しています。



庁舎内受付横に設置されているAED

地上デジタル波への支援

[問] 新井 二〇一一年度か

総合支所の窓口対策

[問] 小峰 総合支所組織が改正され、高齢者、障がい者等、方々の窓口で戸惑いが見られる。市民不在にならない窓口対応を。
[答] 総合的支援窓口の設置を検討しています。総合支所の窓口対応についても、改善策を講じます。

土曜日に市民窓口の開設

[問] 神木 平日に市役所に行けない市民の利便性向上のため、土曜日に市民窓口の開設を。
[答] 来年度から、電子計算機業務の委託化による安定稼働を進めています。その後実施

できるよう検討します。

事業仕分けの導入

[問] 田村 行財政改革の切り札として、事業仕分けを導入してはどうか。
[答] 行政評価制度を有効にする手法と認識しています。現在研究中です。

駅前施設の有効利用

[問] 飯沼 上福岡駅前出張所は立地条件もよく、さまざまな手続が可能であるにもかかわらず、市民になじみがなく利用も少ない。今後、土曜日の開所や午後五時以降の業務時間の延長、また、選挙の時の期日前投票所としての使用を検討してはどうか。
[答] 業務時間延長等は、できるだけ早い時期に実現できるように検討したい。期日前投票所については、選挙区が統一されることが先決で、現状では困難です。

ココネの空き店舗対策

[問] 鈴木 再開発前は地元商店街があったところ。市のまちおこしの観点から必要手段を。



上福岡駅西口前のココネ上福岡

[答] テナントという性格上、商店会に入っていない。集客できる店の誘致などを検討します。

街路灯の存続

[問] 高畑 駅周辺の商店街の街路灯は、防犯上からもその必要性は高いものと考えられる。商店会の現状は廃業等による会員数の減少により、財政的に非常に厳しい状況だ。街路灯電気料補助金の補助率を見直すべきと考えるが。
[答] 当市の財政状況は極めて

厳しい状態にあり、補助率アップは難しいものと思われる。街路灯の存続のため、商店街の街路灯ではなく、「市民の安全・安心のための街路事業」という認識で対応できないか。
[答] 広く考え方を考えていきたいと思えます。

空き店舗対策

[問] 高畑 商店街の空き店舗の現状認識は。また、その対策は。

赤ちゃんの駅設置

[問] 岸川 赤ちゃんを連れて安心して外出できるように、おむつ替えや授乳等ができる「赤ちゃんの駅」等を設置できないか。
[答] 現在公共施設の三カ所です。さらに優先順位をつけて設置していきたい。

[答] ここ数年の調査実績からは、微増の傾向と認識しています。空き店舗の活用に向け、県・市の補助制度があります。
[問] 県の補助制度は、補助対象が商工会等であり、市の制度と異なっているが。
[答] 商工会への補助金交付の中で、対象経費を算入する手法も考えられます。

九月一日を市の「防災家族会議の日」に

[問] 堀口 九月一日防災の日を「ふじみ野市防災家族会議の日」として、帰宅困難となった場合など、どう行動し、どう連絡を取り合うかを家族間で話し合う日としてはどうか。
[答] 災害はいつどこで起こるか分かりません。家族が落ち合う地域防災拠点の確認等、ぜひ行なっていただきたい。このことを市としても啓発していきたい。

要援護者にカラーバンドナの活用

[問] 堀口 要援護者のサインとして、カラーバンドナの活用を。
[答] 一見、外から見て障がい

防犯メールで 防災・火災情報の配信

[問] 堀口 防犯メールに、防災情報や火災情報などを配信できないか。
[答] 九月中には災害時職員招集機能を稼働させます。技術的には発信可能であり、積極的に活用するために検討しています。

組織のあり方と運用について

[問] 小高 危機管理は、市長を頂点として三五五、二四時間体制である。他市町との協議等で再任用職員では調和がとれない。また、再任用者が危機管理の名で上司に通達を出していることは問題がある。早急な是正が必要だが。